



「四国のクマは、やはり絶滅寸前か？」 第一次広域調査の結果について
—「四国のツキノワグマを守れ！ —50 年後に 100 頭プロジェクト—」—

日本クマネットワーク（JBN）は、クマ類と人との共存を目的とする NGO です。大学や研究機関などの専門家と一般市民が共に活動しています。平成 29 年度より独立行政法人環境再生機構地球環境基金の助成を受け、認定特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター、公益財団法人日本自然保護協会と協力して、四国に生息するツキノワグマの保全に関する活動を始めました。その一環として、これまで確認されてきた生息地域以外に、ツキノワグマがほんとうにいないのかどうか調査を行っています。

平成 29 年度の第一次広域調査では、これまでツキノワグマの生息が確認されていない 2,000km² を超える地域に 44 台のセンサーカメラを設置しました。その結果、1 箇所が生息を確認することが出来ました。

調査の詳細な報告は、平成 30 年 1 月 28 日に徳島大学において開催される 2017 年度 JBN 徳島シンポジウム「四国のツキノワグマ知っとん？ — 剣山系のツキノワグマの保全にむけて—」で行う予定です。

シンポジウムの詳細

名称 「四国のツキノワグマ知っとん？ — 剣山系のツキノワグマ保全にむけて」

目的 四国におけるツキノワグマは徳島、高知両県に数十頭のみが生息し、絶滅の可能性が指摘されている。その状況の報告と背景の考察、JBN の活動、今後の対策に関するディスカッションを行う。

主催 日本クマネットワーク 共催：認定特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター、公益財団法人日本自然保護協会 (NACS-J)

開催日時 平成 30 年 1 月 28 日（日） 13 時から 16 時 30 分

開催場所 徳島大学工業会館メモリアルホール（徳島市南常三島町 2-1）

—お問い合わせ先—
日本クマネットワーク事務局
小池伸介（東京農工大学大学院）
Mail : info@japanbear.org



平成 29 年度にこれまでツキノワグマの生息が確認されていない地域で、新たに生息が確認されたツキノワグマ。